

患者家族のための病気とのつきあい方

— 医療現場のリエゾンとソーシャルサポート —

主催：熊本学園大学附属社会福祉研究所

◆講演◆

保坂 隆 氏

(聖路加国際病院精神腫瘍科 部長)

日時：2015年11月21日(土)

13:00~14:30

会場：熊本学園大学

4号館3階 435教室

参加費：無料

定員：100名(先着)

※定員に達した時点で受付を締め切ります。



ポイント

医学の進歩や医療体制の変革は、医療現場をより専門化・細分化させてきましたが、この流れを押し戻し、チーム医療の重要性を改めて問いかけているのが、フランス語で「連携」を意味する「リエゾン」です。

精神科医として、がん患者と家族のために関わるリエゾンは、精神腫瘍学(サイコオンコロジー)と呼ばれていますが、今回はがんという病気をモデルにして、患者や家族は、どのように病気に立ち向かえばよいのかを説明します。中でも、すべての病気の予後(病気の今後の経過)さえも決定している「ソーシャルサポート」(身の回りにいて自分を助けてくれる人たち)の重要性について説明していきます。

※申込みは10月21日(水)から受け付けます。参加を希望される方は、電話・FAX・Emailのいずれかにより、必ず事前の申込みをお願いいたします。申込みの際はご氏名、ご所属、ご連絡先をお伝え下さい。

※本学には外来用の駐車場が十分にございません。公共の交通機関をご利用下さい。

<申し込み・問い合わせ先>

熊本学園大学 学術文化課
(社会福祉研究所)

月~金 9:00~17:00
(12:30~13:30を除く)

〒862-8680 熊本市中央区大江二丁目5-1
電話 096-364-8729(直通)
FAX 096-366-3158(専用)
Email: shafuku@kumagaku.ac.jp